

令和5年度 事務事業評価表

9641  
一般会計

事務事業名	健康都市大学事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成31年度	令和05年度	5年	

<b>2. 事務事業の概要</b>					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	5,025	2,875	0	
	人件費	38,081	38,707	0	
目 的	総事業費	43,106	41,582	0	
学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がり創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。 <b>手段、手法【実施手法：直営】</b> ・市や外郭団体などが実施する講座等に共通のポイント制度を設定するほか、当事業を構成する多種多様な講座を広く周知します。 ・市民が講師を務め、市民どうして学び合える場「市民でつくる健康学部」の講義を実施します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		0	
		合 計		0	
<b>3. 活動内容</b>					
活動指標 1	名称	市民講師登録者数		単位	人
	内容説明	年度末時点での市民講師登録者数			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	162	157	0
		157	152	---	
活動指標 2	名称	「市民でつくる健康学部」講座開催回数		単位	回
	内容説明	一年間で「市民でつくる健康学部」の講座を開催した回数			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	244	252	0
		236	191	---	
活動指標 3	名称	ガイドブック発行回数		単位	回
	内容説明	一年間に健康都市大学ガイドブックを発行した回数			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	2	2	0
		2	2	---	
活動指標 4	名称	PR手段数		単位	種類
	内容説明	一年間に事業を周知宣伝したメディア等の数（HP、広報等）			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	17	17	0
		17	17	---	
課 題	・事業が終了した令和6年度以降は、より多くの市民が学びの場に参加できるよう、制度のあり方や学びの情報提供方法などを検討する必要があります。				

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	3年度	II：見直しのうえで継続	4年度	II：見直しのうえで継続	5年度	III：廃止または終了
	健康都市大学は市民の居場所づくりなどを目的とした講座運営を行い、5年間で多くの市民にシリウスを知ってもらい居場所として定着させるといふ、一定の成果を上げたと考えます。 その一方で、指定管理者との事業重複や受講者の固定化などの課題も表面化してきたことから、令和5年度をもって、事業見直しのために健康都市大学を終了しました。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	B：市が関与する必要性が低くなりつつある。
	A	B	B	健康都市大学は居場所づくり、交流の場づくり、学習環境の整備を目的に事業を実施し、多くの方にシリウスを知っていただくことに一定の成果をあげましたが、指定管理者の事業と重複しており効率性の点から課題があったことなどから、令和5年度をもって事業を終了しました。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	学びの場への参加者を増やし、市民どうしの繋がりを促進するため、講座開催の条件整備や、開催方法等を見直すことにより、さらに事業の成果を高めることに取り組んできましたが、受講者の固定化などの課題がありました。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	最低限の事業費・人件費で、手法を工夫しながら事業を実施しており、経費は適正な水準であったと考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	健康都市大学の講座受講の対象者は、すべての市民を基本としており、受益の公平性、負担は適正であったと考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	B：社会的配慮は行っているが、まだ不十分である。
	B	B	B	より多くの市民の参加を促すため、情報提供の方法や開催手法の改善などを検討し、市民がより参加しやすい運営に努めました。

令和5年度 事務事業評価表

37459  
一般会計

事務事業名	図書館管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書係	磯部 壮一郎

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	読書をする人が増えている		
根拠法令	名 称	図書館法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成27年度			設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民及び広域利用協定対象者		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	639,075	567,292	558,356
	人件費	13,777	13,894	18,775
目 的	総事業費	652,852	581,186	577,131
図書館の円滑な管理運営を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 ・指定管理者による管理運営を行います。 ・図書館の運営に必要なインフラの管理をします。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	1,120		
	一般財源	557,236		
	合 計	558,356		

<b>3. 活動内容</b>					
活動指標 1	名称	指定管理者との協議回数		単位	回
	内容説明	指定管理者と図書館運営に関する協議・会議等を行った回数。			
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	6	6	---
成 果（効果・予測）	公共図書館の運営に関する専門的な知見を持った指定管理者が運営することで、より効果的な図書館運営が可能になります。				
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
課 題	大和市立図書館、中央林間図書館及び渋谷図書館の円滑な運営のため、指定管理者と調整していく必要があります。				

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続	5年度	Ⅰ：現状のまま継続
	大和市立図書館、中央林間図書館及び渋谷図書館を管理運営する指定管理者と協議、調整を行い、図書館の円滑な運営を図ります。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市が設置する図書館を円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要性はありと考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A：十分に成果を上げている。
	B	A	A	本業務では、定期的に管理者と協議を行い、図書館の管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費である施設の指定管理料は、第1期の活動をふまえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などで生じたものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適切な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	図書館は、すべての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、図書館法により利用に対するいかなる対価をも徴収してはならないことから、負担は適正であると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	図書館の運営に当たっては、読み聞かせボランティアの参加、様々な立場のかたが利用できるよう点字本等の収蔵、SDGsに関する情報提供など、社会的配慮を十分に行っています。

令和5年度 事務事業評価表

38746  
一般会計

事務事業名	生涯学習センター管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	社会教育法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成28年度			設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	327,082	337,758	336,912
	人件費	3,351	3,380	3,380
目 的	総事業費	330,433	341,138	340,292
生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 ・指定管理者による管理運営を行います。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			345
	一般財源			336,567
	合 計			336,912

<b>3. 活動内容</b>					
活動指標 1	名称	指定管理者との協議回数		単位	回
	内容説明	指定管理者と運営に関する協議・会議等を行った回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	12	12	12
成 果（効果・予測）	実 績	12	12	---	
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	・市内、すべての学習センターが指定管理者による運営となったことから、市が十分に監督機能を発揮することが重要です。このため、指定管理者との情報共有及び連絡調整を密接に行う必要があります。				

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定管理者制度を活用し、学習センターの適正かつ効果的な管理運営の確保に努めていきます。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市が設置する学習センターを円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要性があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、定期的に指定管理者と協議を行い、学習センターの管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。その結果、民間事業者が持つ知識、経験を活かした管理運営が行われており、現在の手法を継続していくことで、十分な成果を得ることができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費である施設の指定管理料は、第1期指定管理での活動を踏まえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などで生じたものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	学習センターは、全ての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、利用料金の設定にあたっては、他の公共施設の料金や施設の維持管理経費等を勘案し、適切に設定しており、利用者の負担は適正なものと考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	利用者アンケートの実施やご意見箱の設置、行政による点検評価を毎年度実施し、情報を公開するなど、利用環境を高めるための取組を行っています。

令和5年度 事務事業評価表

9604  
一般会計

事務事業名	社会教育委員会議運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	社会教育法第15条		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和24年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
社会教育委員会議		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	694	630	915
	人件費	1,862	2,178	2,178
目 的	総事業費	2,556	2,808	3,093
社会教育全般に係わる調査や研究、計画立案並びに審議等を行う社会教育委員会議を運営し、社会教育行政の充実・発展を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	915		
手段、手法【実施手法：直営】	合 計 915			
社会教育委員会議の運営や事業について、事務局として支援、助言、指導を行います。				

3. 活動内容						
活動指標1	名称	会議開催回数			単位	回
	内容説明	社会教育委員会議を開催した回数です。				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	4	5	6	
	実 績	5	4	---		
成 果（効果・予測）	社会教育委員一人ひとりの資質が向上することにより、社会教育委員会議全体の充実・活性化が図られ、地域づくり・人づくりに取り組む活動が展開できます。					
活動指標2	名称	地区研究会出席回数			単位	回
	内容説明	神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会に出席した回数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2	2	2	
	実 績	2	2	---		
活動指標3	名称	研修会出席回数			単位	回
	内容説明	神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会に出席した回数				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1	1	1	
	実 績	1	1	---		
活動指標4	名称	連絡会議出席回数			単位	回
	内容説明	県管内社会教育委員連絡会議に出席した回数です。				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	1	1	1	
	実 績	1	1	---		
課 題	社会教育委員会議として取りまとめた報告書等の内容をいかに地域や教育行政に反映させていくかが課題です。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	社会教育行政の充実・発展のため、継続した活動を行います。					

令和5年度 事務事業評価表

9606  
一般会計

事務事業名	社会教育啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	社会教育法第3条		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和24年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	400	240	1,002
	人件費	745	751	751
目 的	総事業費	1,145	991	1,753
社会の中で生きるために必要な知識・技能などの教育を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 学校教育以外の家庭教育、人権教育などの社会教育を、身近な場所で受けられるような学習機会を提供していきます。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,002
		合 計		1,002

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	人権啓発映像教材の購入数		単位	枚
	内容説明	人権啓発映像教材の購入数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1	1	1
実 績	1	1	---		
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	単に個人個人の「趣味・教養」を充足させるものだけでなく、社会教育として、新しい「公共」の形成を目指し、「社会の中で生きるために必要な学習」や「地域の課題解決活動」に重点をおいていく必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	学校教育以外の家庭教育、人権教育などの社会教育は現代社会において必要な教育です。今後も適切な情報発信を行いながら、引き続き市民が社会の中で生きるために必要な知識を得られるよう、社会の変化に合わせて、一人ひとりの学びたい「学習要求」に応じたテーマ選定を行い、多くの市民に対し学習機会を提供していきます。					

令和5年度 事務事業評価表

9608  
一般会計

事務事業名	PTA連絡協議会支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	社会教育法第11条		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和27年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市PTA連絡協議会		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	168	170	170	
	人件費	372	376	376	
目 的	総事業費	540	546	546	
学校・家庭・地域の連携促進のため、PTA事業の活性化を支援します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 大和市PTA連絡協議会の活動費の一部補助および活動支援を行います。		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		170	
		合 計		170	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	PTA連絡協議会会議、研修会等への出席数		単位	回
	内容説明	PTA連絡協議会会議、研修会等への出席数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	12	12	12
		実 績	7	10	---
活動指標 2	名称	PTA連絡協議会への補助金交付回数		単位	回
	内容説明	1年間に補助金を交付した回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	1	---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	社会教育関係団体としてのPTA活動の活性化を図る必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	子どもを支える環境において、家庭・地域・学校の連携は大変重要であり、PTA活動を通して子ども達の健全育成と福祉の増進を図る活動に取り組むPTA連絡協議会に対し、支援を継続します。					

令和5年度 事務事業評価表

9630  
一般会計

事務事業名	特別教室開放事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	学校教育法137条		
		社会教育法44条		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成10年度			設定無し

<b>2. 事務事業の概要</b>					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	13,382	13,831	15,677	
	人件費	1,862	1,878	3,004	
目 的	総事業費	15,244	15,709	18,681	
生涯学習とコミュニティ活動の場を提供します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・市立小・中学校の特別教室等を生涯学習を目的とした2人以上の者で構成する団体に開放します。 (渋谷中学校の総合学習スペースについては個人利用が可能です)	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	20			
	一般財源	15,657			
	合 計	15,677			
<b>3. 活動内容</b>					
活動指標 1	名称	開放施設数		単位	校
	内容説明	特別教室開放事業実施校			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	9	9	9
実 績	9	9	---		
活動指標 2	名称	延べ利用可能日数		単位	日
	内容説明	全開放校の年間利用可能日数の合計			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	2,809	2,809	2,809
実 績	2,261	2,366	---		
活動指標 3	名称	延べ利用者数		単位	人
	内容説明	特別教室開放における年間利用者総数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	17,000	17,000	17,000
実 績	12,032	14,076	---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	より地域に根ざした学習拠点になるように、新規開放校を増やすなど、利用しやすい環境を整えることが重要です。また、学校開放が多くの市民に活用されるよう周知方法の工夫が必要です。				

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	既存の学校開放事業は適正な運営方法により運営します。開放準備が整った学校については、特別教室開放推進委員会で開放内容を検討し、事業を実施します。 また、渋谷中学校学校開放は協働事業者である渋谷きんりん未来の会と連絡調整を行い、より効率的、効果的な運営方法を検討します。					

令和5年度 事務事業評価表

9907  
一般会計

事務事業名	生涯学習総合推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

<b>1. 位置づけ・事務事業の期間</b>				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
			設定無し	

<b>2. 事務事業の概要</b>				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
生涯学習関連事業主管課		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	372	13,518	13,518
目 的	総事業費	372	13,518	13,518
生涯学習事業の効率的な展開を図るため、新たな生涯学習計画を策定し、具体的な計画のもとで事業を展開していきます。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
手段、手法【実施手法：直営】		合 計 0		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の学びによる充足を満たすためには、さまざまな学習機会の提供や施設の整備をすることが必要であり、学んだことを地域の活動へと広げていきます。</li> <li>3つの施策目標を達成するためにそれぞれの個別目標を設け、具体的な計画のもとで事業を展開していきます。</li> </ul>				

<b>3. 活動内容</b>					
活動指標 1	名称	会議開催回数		単位	回
	内容説明	調整会議等の開催回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1	5	5
実 績	0	1	---		
活動指標 2	名称	検討対象事業数		単位	事業
	内容説明	学習センターで実施する生涯学習関連事業数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	209	207	277
実 績	170	267	---		
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		
課 題	生涯学習推進計画の進行管理が重要となります。				

<b>4. 今後の方針等</b>						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	II：見直しのうえで継続	5年度	II：見直しのうえで継続
	<p>生涯学習推進計画の計画目標の達成に向け、教育委員会の自己点検・評価をもとに進行管理を行います。令和5年度は生涯学習推進計画の改定を行う予定でしたが、総合計画が計画年を1年延伸した事に伴い、個別計画である生涯学習推進計画についても計画年を1年延伸し、令和6年度までとしました。</p> <p>令和6年度は生涯学習推進計画の改定を行う予定であり、改定においては市民アンケートやパブリックコメントを参考にし、社会教育委員会議及び生涯学習推進調整会議等で検討することで、より分かりやすい計画となるよう計画改定を行います。</p>					

令和5年度 事務事業評価表

16927  
一般会計

事務事業名	出前講座「どこでも講座」事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	学び交流係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	学びに関わる人が増えている		
根拠法令	名 称	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	74	75	75
目 的	総事業費	74	75	75
市職員が職務上習得した専門知識を市民の自主学習の場 に届け、生涯学習のまちづくりを推進します。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金	0	0
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 講習可能な内容をメニュー化し、10名以上の市民によ り構成された団体の求めに応じて職員を派遣します。		県支出金	0	0
		市債	0	0
		その他	0	0
		一般財源	0	0
		合 計	0	0

3. 活動内容					
活動 指標 1	名称	講座数	単位	講座	
	内容説明	講座メニュー数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	88	88	88
実 績	92	90	---		
活動 指標 2	名称	PR手段数	単位	件	
	内容説明	市民に対してのPRした手段（メディア）の種類数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	5	5	5
実 績	5	5	---		
活動 指標 3	名称	講座申込件数	単位	件	
	内容説明	年間講座申込件数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	22	22	22
実 績	26	20	---		
活動 指標 4	名称		単位		
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
実 績			---		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	4年度	Ⅰ：現状のまま継続
	5年度 Ⅰ：現状のまま継続			
各課に講座メニューの充実を依頼するとともに、メニュー拡大のため事業の周知活動に努めます。 また、市民には引き続きガイドブックやホームページ、学習センター等で事業の周知を行います。				

令和5年度 事務事業評価表

40501  
一般会計

事務事業名	文化創造拠点シリウス管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	薰り高い文化芸術を創造・継承する		
	めざす成果	文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成29年度		設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
文化創造拠点シリウス		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	131,109	123,268	125,844
	人件費	3,724	3,755	5,257
目 的	総事業費	134,833	127,023	131,101
文化創造拠点シリウスの円滑な管理運営を行います。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 ・市施設共用部の管理を行います。 ・管理組合や各施設所管課、指定管理者等との調整を行います。 ・大和市文化創造拠点の管理等に関する審議を行うため、文化創造拠点等運営審議会を開催します。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	125,844		
	合 計	125,844		

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	指定管理者及び関係各課との連絡調整会議参加回数	単位	回	
	内容説明	連絡調整会議に参加した回数。			
	指標値	予 定	4年度 12	5年度（当該年度） 12	6年度 12
		実 績	11	9	---
	活動指標 2	名称	文化創造拠点等運営審議会実施回数	単位	回
内容説明		文化創造拠点等運営審議会を実施した回数。			
指標値		予 定	4年度 4	5年度（当該年度） 3	6年度 4
		実 績	4	3	---
活動指標 3		名称		単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
	活動指標 4	名称		単位	
内容説明					
指標値		予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		実 績			---
課 題		文化創造拠点シリウスの円滑な管理のため、必要な手続きを遅滞なく進める必要があります。			

4. 今後の方針等				
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	5年度 I：現状のまま継続 文化創造拠点シリウス全体について、指定管理者及び管理組合と十分に調整を図りながら、適切に管理運営されるようにしていきます。			

令和5年度 事務事業評価表

40937  
一般会計

事務事業名	子ども読書活動推進会議運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	読書をする人が増えている		
根拠法令	名 称	子どもの読書活動の推進に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成29年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	0	22	26
	人件費	3,351	3,380	6,008
目 的	総事業費	3,351	3,402	6,034
子どもの読書環境を整えます。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営・指定管理】 推進会議委員と連携して、子ども読書活動推進計画及び実施計画の進捗状況を把握、点検、見直します。 市民まつりに参加し、子どもの読書活動を推進する普及啓発イベントを開催します。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			26
	合 計			26

3. 活動内容					
活動指標 1	名称	子ども読書活動推進会議の会議開催回数		単位	回
	内容説明	子ども読書活動推進会議の会議開催回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	4	4	3
	実 績	3	3	---	
成 果（効果・予測）	子どもの読書に対する興味を深めることができます。 子どもの読書量を増加させることができます。				
活動指標 2	名称	推進会議として実施する普及啓発活動の実施回数		単位	回
	内容説明	推進会議として実施する普及啓発活動の実施回数			
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	1	1	1
	実 績	0	1	---	
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	・「こども読書よむ読むプラン」の3つの施策目標に関連する各取組を着実に推進するため、学校、こども関係部門、ボランティアとの連携・協力を一層強化し、事業を展開する必要があります。				

4. 今後の方針等						
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	子ども読書活動推進会議での意見等を踏まえ、今後も子ども読書活動推進計画が掲げる目標を達成するための取り組みを着実に進めていきます。					

令和5年度 事務事業評価表

40939  
一般会計

事務事業名	図書館行政管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	文化スポーツ部	図書・学び交流課	図書係	磯部 壮一郎

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	社会の健康・豊かな心と感動がひろがるまち		
	個別目標	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する		
	めざす成果	読書をする人が増えている		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
		令和05年度	設定無し	

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	0	0	0	
	人件費	4,841	4,882	0	
目 的	総事業費	4,841	4,882	0	
図書館施策を推進します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 ・図書館を身近なものとして感じることでできる事業に取り組みます。 ・図書館サービスの向上のため、さまざまな関係機関との連携をはかります。	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			0	
	合 計			0	
3. 活動内容					
成 果（効果・予測） ・市民の読書環境が向上し、より多くの方が読書に親しめるようになります。	活動指標 1	名称	図書館城下町のロゴ使用件数	単位	件
		内容説明	図書館城下町のロゴを使用した件数		
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定	10	7
			実 績	4	3
課 題 ・行政だけでなく、読書に関わるさまざまな機関等と連携し、まち全体として図書館施策に取り組める体制を整える必要があります。	活動指標 2	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定		
			実 績		
活動指標 3	活動指標 3	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定		
			実 績		
活動指標 4	活動指標 4	名称		単位	
		内容説明			
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
			予 定		
			実 績		

4. 今後の方針等				
今後の方針等	3年度	I：現状のまま継続	4年度	I：現状のまま継続
	5年度	III：廃止または終了		
事業見直しのため、本事業は令和5年度をもって終了します。				